

市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年6月8日（土） 15時30分～17時30分

場 所：コミュニティセンター深見北会館（集会室）

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：13人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 島津地区は市街化調整区域であるが、近年の住宅開発で住民が増加している。
- ・ この先も住宅開発が続く状況であるため、公共下水道の整備をお願いする。

【市長】

- ・ 市街化調整区域への公共下水道の整備について、島津地区の皆さんのご意見として所管課と情報共有し、対応の可否について検討していきたい。

【意見】

- ・ 新しい総合計画では、つながりを大切にしていくということだが、身近なつながりとして、自治会、PTA、子ども会などがあるが、現状では崩壊寸前というところまで来ていると感じている。
- ・ 定年後、現役を退いた方、70歳前後の方が中心に取り組んでいたが、現在は、その年代の方が働いている状況もあり担い手がいらない。
- ・ リサイクルステーションを自治会で管理しているが、手伝っていただける人が減っている。
- ・ 防災倉庫が手狭になっているのだが、規制があり大きくできないので、規制を緩和できないか。
- ・ スタンドパイプについて、防災倉庫がある公園の中に単体で置く場合の申請が煩雑なので、口頭で許可して欲しい。

【市長】

- ・ 自治会、PTA、子ども会など地域の皆さんのご尽力に感謝申し上げる。
- ・ 災害時に秩序が保たれ、共助が機能しているのは、自治会があることで地域のつながりが維持されているからである。
- ・ 自治会などの地域活動を維持するためには、ボランティアを募る、インセンティブやポイントを付与する、など様々な方法が考えられ、今まさに話し合っているところである。
- ・ リサイクルステーションの管理が難しい地域が増えている状況は承知しており、戸別収集の可否を検討するために、費用の試算などを行っているところである。
- ・ 公園に設置する防災倉庫やスタンドパイプについては、関係のある所管課に情報を伝えて対応の可否について話し合っていく。

【意見】

- ・ 南大和相模原線の東名高速道路高架付近は植栽帯の雑草が伸び放題で、見通しが悪く接触事故も起きており、適切な維持管理を要望する。
- ・ ベテルギウス前交差点近くの大和東3丁目北側交差点から大和東1丁目交差点までの道路（大和東3号）の歩道について、幅員が狭く住宅に接続するための傾斜によって非常に歩きにくい。
- ・ 特にベビーカーは大変な思いをしており、車道を歩いていることもあるので、歩道の改良をお願いしたい。
- ・ 広域避難場所になっている一ノ関・城ヶ岡は、柵で囲われた森林エリアが殆どで、農地も避難場所になっているようだが、入ってよいものなのか分かりにくいので、深見城跡を遺跡公園にして避難場所の確保と一体で整備して欲しい。
- ・ 城ヶ岡からすぐの北部浄化センターを囲む東側と南側の崖は土砂災害警戒区域であることから、土砂災害で浄化センターが使えなくなることがないよう対応して欲しい。

【市長】

- ・ 植栽帯の剪定について、引き続き、適切な維持管理に努めていく。
- ・ 市民の皆さんがスマホで写真を撮って、修繕や剪定の必要な場所を知らせていただくことも話し合っており、今後その可否を検討していく。
- ・ ご指摘の狭い歩道（大和東3号）については、所管課と情報共有し対応の可否について検討する。
- ・ 深見城跡の利活用については、民地もあるためすぐの対応は難しいが、そういった要望があることを所管課と共有し、今後の参考とさせていただく。
- ・ 災害があっても北部浄化センターが稼働できるよう努めているが、想定を超える災害も増えているので、出来る限りの対応を継続する。

【意見】

- ・ 自治会区域内にある空き店舗について、市で借り上げて地域の居場所として活用してはどうか。
- ・ 公園のみんなのトイレについて、車椅子マークがあるため、車椅子以外は使えないと思い、使用を躊躇している高齢者をみかけるので、誰でも使えるというのがわかるような表示に改善して欲しい。
- ・ 先ほど市長からあったが、危険箇所などをスマホの写真を送ることで市に知らせられる仕組みがあると良いと思う。

【市長】

- ・ 空き家対策は喫緊の課題と認識しており各業界とも話し合っている。
- ・ 人と人がつながることを重視しており、そのためには居場所が重要となるため空き店舗を活用することも視野に入れていきたい。
- ・ 空き店舗を自治会館以外の活動拠点として活用することを、関係する所管課と情報共有して、対応の可否を検討していく。

- ・ みんなのトイレの表示についても、車椅子の方だけでなく、必要とする方が使っていただけることをわかりやすく表記することについて、関係する所管課と情報共有して、対応の可否を検討していく。
- ・ 危険個所などをスマホで知らせていただくことについては、すぐに対応は難しい状況であるが、検討は続けていく。
- ・ 先ほど話した、地域のために協力いただく方にインセンティブやポイントを付与していくのも、DXによってアプリを介して双方向でやり取りできるようになるかもしれないので、様々な可能性について対応の可否を検討する。

【意見】

- ・ 上瀬谷通信施設跡地の「GREEN EXPO」開催に関連して、瀬谷区から中島橋を渡って島津に入って北へ向かう境川沿いの道（城山宮下線）が246号線への抜け道として使われるようになっており、最近では10tトラックも走行するようになり、歩行者が通れない場合もある。
- ・ 40年ほど前に沿線の住民が土地を売って道路を拡幅しているが、島津自治会館付近のなど一部区間は非常に狭いので、歩行者の安全を確保するため、道路の拡幅について検討して欲しい。
- ・ 市道と農地の境界が曖昧な場所があり、市道部分を農地として使っている事例があったので、道路境界を含めて管理を徹底して欲しい。
- ・ 経済について、大和市のイメージとして“焼き鳥のまち”というのをテレビで見たので、こういったイメージを利用して人を呼び込むとよいと思う。
- ・ 中央森林東側地区が市街化区域編入されて、商業施設ができるという話も出ており、人が集まる魅力ある街づくりを進め、市内経済を活性化させて欲しい。

【市長】

- ・ 「GREEN EXPO」とその後のテーマパークについて、経済効果が大きいことよりも、周辺地域の皆さんがこれまでと変わらず安心して暮らしていくために安全と安心の確保が重要である。
- ・ 特に道路は生活道路も含めて抜け道として使われる可能性が高く、事故、渋滞、歩行者の安全などが懸念されるので、安全対策を検討していく。
- ・ 道路の管理については、お話のような事例があることも踏まえて、適切な維持管理に努めていく。
- ・ 大和市に来たいと思えるイメージは大切に、駅前には「攻め」で人が集い賑わい稼げるまちにしていきたい。
- ・ 一方、駅から離れた住宅街は「守り」で、静かで暮らしやすい安全安心なまちにしていきたい。
- ・ 「GREEN EXPO」とその後のテーマパークに来場したお客さんが、大和市に寄ってから帰るような魅力のあるまちにすると同時に、オーバーツーリズムにならないよう、観光と生活を明確に分けられるようにしたい。
- ・ 若者を呼び込むために重要な雇用を生むための企業誘致にも力を入れる。

- ・ 大和市に若者が定住するよう、様々な切り口で仕掛けていく。

【意見】

- ・ 厚木基地について、将来的に公園などになる可能性はあるのか。

【市長】

- ・ 厚木基地は返還が大前提で、それが叶うまでの間は、基地の利活用という視点で考えていきたい。
- ・ そう簡単な話ではないが、軍民共用で民間機が利用できるようになれば、物流が大きく変化して経済効果も期待できるだけでなく、災害時には物資供給の拠点になることもできる。
- ・ 市民の皆さんに還元できるような施設、喜ばれる施設になればと考えている。

【意見】

- ・ 空き家の関係で、自治会館の近隣の方がお亡くなりになり、お住まいを市に寄贈したという話がある。
- ・ 市に寄贈されているのであれば、ぜひ自治会に貸して欲しい。
- ・ 自治会の位置によって、地域の各団体のエリアが2重になっている場合があり、自治連の理事区に合わせるなど、各地域団体の区割りを見直すと助かる。
- ・ 自治会長が兼任する地域団体の役職が多過ぎるので、報酬制度にしないと維持できないと考える。
- ・ 将来的に自治会、地域の各団体、コミセンなど地域のつながり活動やコミュニティを取りまとめて、地域の負担軽減を図ってはどうか。

【市長】

- ・ 市に寄贈される土地や建物があつた場合、地域で活用することも含めて、柔軟に検討していきたい。
- ・ エリアの重複による自治会役員の負担は解消していきたいので、ご意見を関連のある所管課に情報提供させていただく。
- ・ 自治会活動について、先進的な事例を調査研究しており、将来的に皆さんの負担軽減を図っていければと思う。

【意見】

- ・ 消防団に関して、どこの分団も団員不足が生じており、私が所属する分団も勧誘活動を行っているが、様々な事情があり協力を得られていない。
- ・ 災害が平日に発生した場合、出動できる団員が少ない状況で、分団のエリアを超えて相互応援することとなっているが、あくまで対症療法に過ぎない。
- ・ 12ある分団を再編成して担当エリアを拡大する、団員の定足数を減らす、市外で仕事をしている団員もいるので平日の災害時には市内企業の自衛消防組織の協力を仰げるよう協定を結ぶなど、この先のことを考えた対応を検討していただきたい。
- ・ 市からの各種情報、広報やまと、やまとニュースなど、紙で配布されている

が、市のウェブサイトにはPDFデータが公開されているので、デジタルにシフトして紙を減らし予算を削減すべきではないか。

- ・ 回覧や配布を自治会の班長が担当しているが、それができないと退会する人も増えており、デジタルにシフトすれば自治会の回覧物も減るので、負担軽減につながると思う。

【市長】

- ・ 災害時には消防団の力が非常に大きいので、団員不足を解消するため、市の啓発や勧誘方法も見直していかなければならないと考えている。
- ・ 企業との災害時応援協定については、生活必需物資の調達、防災資機材の供給、情報収集、施設利用など様々な内容で締結している。
- ・ 消火活動等に関する企業の応援については、関係する所管課に情報提供して対応の可否を検討していく。
- ・ 自治会活動や消防団活動の担い手不足を解消するには、活動されている方に何らかの形でインセンティブやポイントを付与することが必要ではないかと考えている。
- ・ 広報やまと、やまとニュースなど紙媒体をデジタルにシフトしていくべきと考えているが、紙を必要としている方もいることから、段階的にシフトしていくようにしたい。

【意見】

- ・ 中央2・3丁目自治会エリアの資源リサイクルステーションでアルミ缶の盗難が相次いでいる。
- ・ 警察に相談しても対応が難しいので市としても対策をお願いしたい。

【市長】

- ・ 市としてできる対応を検討させていただく。

【市長指示】

- ・ アルミ缶の盗難について、警察に相談をする。
市長と関係課で協議し、大和警察署に協力要請。